

報 廣

お だ て

9月16日号 (No. 284)

編集と発行 — 大館市役所
(電話) 49-3111
発行年月日 — 昭和55年9月16日
発行日 — 毎月1・16日

広報紙は、行政協力員を通じて全世界に配布しています。届かなかつたり、配布が遅いときは、総務課秘書広報係へご連絡ください。

昭和43年3月1日第3種郵便物認可 (1部5円)

< 8 月 >
() は1月からの累計
交通事故・件数 28件(112)
傷者 47人(167)
死者 0人(5)
火災・件数 0件(19)
救急・回数 88回(747)



攻める方も守る方も真剣そのもの……熱戦の市民家庭バレーボール大会



作戦タイムもタイミングよく……



黄色い歓声でいっぱいのは応援席

昭和四十一年にはじめて以来第十五回目を迎えた市民家庭バレーボール大会は、市民体育館を会場に九月六日、七日の二日間にあつて開催されました。四十四チームが参加、今までにないマンモス大会となつた今年、混成チーム(一部)と地区

区チーム(二部)、さらに男女別の四部門に分かれて、トーナメント方式で行われました。日頃の成果を十分に発揮しようとハッスルするママさんや応援にかけた子供たちの歓声が館内は割れんばかり……。熱戦につぐ熱戦で盛会のうちにその幕を閉じました。

- ▽優勝チームは次のとおりです
- ▽男子一部 — 秋田内スポーツクラブ
- ▽同二部 — 池内
- ▽女子一部 — 城南小PTA(Aチーム)
- ▽同二部 — 板子石

広 報 歳 時 記

9 月

9月23日は「秋分の日」。「暑さ寒さも彼岸まで」といわれていますが、今年には例年になく冷たい夏で、もうすっかり秋の気配が感じられるようになりました



秋の風物詩で忘れてならないものに、仲秋の名月、すなわち陰暦8月十五夜の満月があります。この時期は台風が発生しやすく、満月をながめることはなかなかむずかしいようです。

百人一首で有名な大江千里の「月見ればちぢに物こそ悲しけれ我身ひとつの秋にあらねど」(古今集)をはじめ、月を詠んだ詩歌や物語は、古来哀愁のこもったものが多いようです。

- < 9月下半期の主な行事 >
- 15日(月)・敬老の日、老人福祉週間 (～21日総理府、厚生省)
 - 20日(土)・動物愛護週間 (総理府)
 - 21日(日)・教育の日 (市民体育館)
 - ・全県勤労者弓道大会(弓道場)
 - ・秋の全国交通安全運動
 - ・環境衛生週間(～27日厚生省)
 - 23日(火)・秋分の日
 - ・第1回市民ゲートボール大会 (有浦小グラウンド)

対話集会

「市民と語る会」へどうぞ!



対話の集い「市民と語る会」を地区ごとに次の日程で行います。どなたでも参加できますので多数ご出席のうえご意見、ご要望などをどしどしお出しく下さい

地 区	実 施 日	会 場
大 館	9月24日(水)	有 浦 児 童 館
	25日(木)	商 工 会 館
	26日(金)	労 働 会 館
	29日(月)	大町商店街 振興組合会館
	30日(火)	通 町 町 内 会 館
	10月 1日(水)	青 少 年 ホ ー ム
	2日(木)	南 ケ 丘 会 館
	3日(金)	相 染 町 会 館
	6日(月)	東 台 2 区 会 館
	7日(火)	神 明 社 長 床
8日(水)	中 央 公 民 館	

※時間は各会場とも午後6時30分開会、午後8時30分閉会の予定です。

学 ぶ 輪 を みんな で 広 げ よ う

～ 9 月 21 日 (日) は 「 教 育 の 日 」 ～

市教育委員会では、昭和51年から年1回「教育の日」を定め、市民の皆さんに教育活動への参加を呼びかけ、教育的風土づくりにつとめています。今年には9月21日を「教育の日」とし、市民体育館を主会場に各種行事が展開されます。

- < オープニング行事 >
- ・トランペット鼓隊パレード 9:00～9:40 (市内小学校児童 約200名)
 - ・プラスバンド野外合同演奏会と第一中学校マーチングドリル (市民体育館前) 9:40～10:00
- < 市民体育館会場 >
- ・式典 10:00～10:20
 - ・討論集会 10:20～12:00
 - ・記念論文の発表、表彰 12:00～12:30
 - ・吹奏楽演奏 13:00～13:30

- ・記念講演 13:30～15:00
静岡大学名誉教授(前静岡大学学長) 桜場 周吉氏 (大館市出身)
演題「新しいエネルギー開発について」



< 桜庭氏の略歴 >

- ・旧制大館中学校25期卒業
- ・東北帝大理学部卒業
- ・浜松高等工業学校教授
- ・静岡大学工学部教授
- ・静岡大学学長 (52年3月まで)

- ・楽しく学ぶ集い 15:15～16:30 (合唱、ダンス、民謡、踊りほか)
- < 中央公民館会場 >
- ・図画、書道、版画展 9:00～17:00
- < 商工会館会場 > 9月19日(金)～22日(月)
- ・発明くふう展 9:00～17:00

明日のため今日の日本を知る調査

国勢調査 10月1日

十月一日—全国いっせいに国勢調査が行われます。この調査は国の最も基本的な、かつ大規模な調査で、大正九年の第一回以来、五年ごとに実施され、今年ですべて十三回目になります。また、今回は国連のすすめて世界各国が参加する「一九八〇年世界人口・住宅センサス計画」の一環として、国際的にも重要な意義をもっています。調査のあらましをお伝えして、皆さんのご協力を願います。

調査のねらい

国勢調査は、全国各地域ごと人口や男女、年齢、家族構成などの状況を明らかにして、国の政治、行政はもろろんのこと都道府県や市区町村の地域社会に直結した行政に必要な資料を得るために行われるものです。たとえば、人口を把握することによって、ゴミ汚水処理や学校などの公共施設、交通機関や住宅の確保など、また、高齢化の進むなかで、年齢構成をつかむことによって、社会福祉や雇用のための行政に生かされ、わが国が抱えるさまざまな問題への大切な資料となります。

調査のしくみとその対象者

国勢調査は、国内に住んでいる全ての人が対象になります。調査票は調査員により、九月三十日までに自宅に届けられ、十月五日までに集められます。

調査することから

原則として市に三か月以上住んでいる方全員とします。

①氏名、②男女の別、③世帯主との続柄、④生年月日、⑤配偶者の有無、⑥仕事をしたかどうか、⑦職業又は通学地、⑧勤め先、事業の種類、⑨本人の仕事の種類、⑩最終卒業学校の種類、⑪家計の収入の種類、⑫世帯の種類、⑬世帯人員、⑭住居の種類、⑮居住室数、⑯居住室の畳数……などについて調査します

個人の秘密は固く守られます

調査票に記入していただいた個人や家庭の秘密をもらしたりそれを目的以外の使用、たとえば税金などに使うことは法律でも固く禁じられており、そのようなことは絶対ありませんので安心して正確な内容を記入していただけます。



調査票は
9月30日までに
お手もとに
10月5日までに回収

第一回阿仁川下りゴムボート大会

優勝 長田常雄さん(35) 佐藤隆男さん(35)



長田さん(左) 佐藤さん(右)

八月十六日、阿仁町で行われた「第一回阿仁川下りゴムボート大会」で、当市から参加した長田さん(鉄砲場)と佐藤さん(清水町)のチームが圧倒的な強さでみごと優勝しました。この大会は、急流あり、浅瀬あり、岩ありの変化に富んだ阿仁川約十五キロをゴムボートで下るもので、県内各地から七十五チーム、百五十七人が参加して行われたものです。長田さん、佐藤さんは同じ年で同じ職場、魚釣、山菜とりなどいつもいっしょの気の合う友だち。このチームワークの良さが優勝への大きな原動力。来年もまた記録更新をめざし参加することとガムパレ

広くなつた「四十八滝」 身障者センター増築工事了

市立身障者福祉センター(四十八滝)の増築改装工事が完了し、明るく広くなった施設は、連日たくさんの方々にご利用されています。

同センターは、昭和四十四年に長木沢溪谷と秋田杉美林を見渡せる雪沢大滝内に建設されたもので、年々利用者が増えていることから、このほど約九百万円をかけて大広間や浴室の増築を行ったのです。どんなでも気軽に利用できます。グループで、ご家族連れで秋の一日をお過ごしください。

◇申し込み
身体障害者福祉センター
〒四十八滝 電話 48-3247
◇宿泊料(一泊二食付)
大人・三千四百円



独善と偏見

「市民と語る会」を開かせていただいています。その対話の中で「市民運動会」という名で市は自主的活動をとりあて、事実上は市役所の運動会をやろうとしているのではな

「冷夏」この異常気象は私たちの生活に直接間接に大きな影響を与えました。そして迎える先にどんな現象が出るだろうかと心配される所です。



No. 19

自力更生

冷夏どころか冷害が決定的となり、その程度が日を追って大きくなって参りました。来事で農業者のみならずは、私たちがも国には天災融資法の発動を求めています。それによって生活、営農資金対策と市民税をはじめ減免措置をとりなればなりません。秋から冬場に向けて救済土木の公共事業を国や県にも働きかけながら起して行かなければならないと決意しております。

それにつけても、他人まかせではなく農業者の意見も行動も求めなければなりません。みなさんの進んでの行動は決して無意味ではありません。自力更生の意欲が頭張ってください。共に最善をつくしましょう。

富山健治郎

期待される新エネルギー開発

水素燃焼 水で自動車が進むか?

無尽蔵にある水を利用する水素エネルギーの技術開発が、いま世界中で進められています。航空機の燃料に液体水素を使おうという国際的な共同研究は、七年後の実験運行をめざしており、自動車の世界でも液体水素機や水素自動車の実用化に向けて各国の大学や企業が研究を開始しており、二十年后には水素エネルギー時代がやってくるといわれています。

水素燃料の利点は、原料となる水がいたるところにあること、燃焼による有害ガスがほとんどゼロで大気汚染がないこと、それに着火性がよいことなどがあげられます。しかし、問題点もありません。燃焼速度が遅いことや金属を腐らせる性質があることで水素に強い容器の開発が必要なこと、それに密度が非常に小さいので、ペカでかいタンクが必要なことなどです。しかしこの点は、水素を吸収し、暖めると水素を放つ不思議な金属が発見されており、何とかすくれた貯蔵法が見つかりそうです。残る難題が、製造コストです。

先進国は今、水素の効率的、経済的な製造技術の完成に向けて、科学者や技術者が知恵を絞り、しのぎを削っているところで



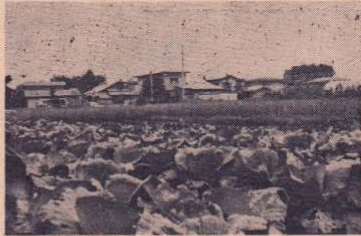
毎月5日は国説自説日 時間:午前10時~午後4時

われらが町内 わがグループ

No. 15

今回のこのコーナー、月二回の農休日二十数年つづけながら、北鹿地方有数の野菜の産地として知られる立花地区を紹介いたします。

同地区は市の西部、山麓を国鉄奥羽線が走り、広い水田と畑地の間を国道7号が通り世帯数87、人口381人の純農集落です。



農休日には田んぼも畑もひっそり……

ほとんどが農家ということもあり、むかしから農業に対して進歩的な考えをもってきました。今は行われなくなりましたが、馬具の展示会、堆肥の品評会、細い競争など農作業に密着した各種催しを行い、人々の競争意識を煽るなど、その進取の風潮と連帯意識の強さは今日まで受け継がれています。そうした同地区に農休日のとりきめができたのは、婦人会からの提案によるものからでした。このへんの経緯について、当時青年会の会長を務めていた中島寿一さんは「働き過ぎによる更年期障害などを防ぐといったこともありました。第一の目的は、町内の人との親睦をはかる場を持ちたいということ、それと研修の機会を持ちたいという願いで、青年会も協力して当時としては画期的な月2回(1日と15日)の農休日が実現しました」と話してくれました。

当初、若い人や婦人には歓迎されたものの、働き盛りの人たちにとってはさすがに違和感がありました。しかしこの日を使い市内の施設めぐりや、農業先進地への研修視察、レクリエーションと幅広く活用でき、これによって人々の融和にも大いに役立つことがわかり、町内もぐっと明るくなってみんな大喜び。殊に同地区に来るお嫁さんには大好評、若い人たちの農村離れの歯止めにもなったようです。おかげで青年会、子供会の活動も活発になりました。お盆に行われる子供相撲大会も復活しました。神明社の祭典には御輿もかつぎます。ほかに町内の清掃、くずごの設置など美化運動にも熱心です。近代的な農家作りにはいち早く手がけた立花地区は長年にわたって少しずつその芽を实らしてきています。

(町内会長 長崎市司さん)



喜びの今村さん



墓園センター「東雲閣」

通信販売のトラブルをなくしましょう

新聞、雑誌、テレビの広告やダイレクトメールなどを見て、郵便や電話で商品の購入を申し込む「通信販売」が盛んですが、一方これをめぐるトラブルもあとを断ちません。そこで、通信販売を有効に活用するための注意点を、実際に起きたトラブルに即してご紹介しましょう。



消費者の窓

▽トラブル① 広告の商品説明が不十分のため、自分が望まない商品を買ってしまった。
消費するには、広告が唯一の情報です。注文は、カタログを取り寄せたり、品質や材料、サイズ、色などの表示をよく確認してからにしましょう。
また、商品に何ら欠陥がなくても返品できる「返品特約」の有無を確認することもお忘れなく。

▽トラブル② 注文しないのに商品が届いた
一方的に商品を送りつけて代金を請求したり、購入しない場合は返送するよう要求する商法です。
これは、買意のない限り、代金を支払う必要もなく商品を送る必要もありません。送られた日から三カ月たてば自由に処分できます。また、引きとるように申し出ても業者が応じない場合は、申し出た日から一カ月たてば処分できます。使わないで適当なところに保管しておけばいいのです。

フォトニュース



△市民と語る会▽写真(上) 市では、市民の皆さんから市政に対する意見や要望を聞く「市民と語る会」を開催中。大ぜいの皆さんからご意見や



△ご要望が活発に出されている。今後の日程は一面のとおりです。住みよい大館市をつくるため、みんなで話し合ひしましょう。あなたもご参加を。



△全国交通安全キャラバン「みんなですすめる交通安全」をスロガランに、東京を出発したキャラバン隊(全国交通安全母の会主催)が、先月二十七日大館市に到着。キャラバン隊は大館幼稚園のよい子たちに交通安全の絵本をプレゼントして

つぎの目的地青森県へ。△敬老会▽写真(下) 九月二日から各地区ごとに敬老会が行われています。お年寄りの方々に、婦人会などの皆さんによる民謡や踊りなどのパフォーマンスで一日ゆつくり楽しんでもらいました。これからも健康で長生きしてね。

今月は
国民健康保険税と
第二期の納期です
— お忘れなく —

小柄沢墓園センター 名称「東雲閣」に

小柄沢墓園センターの名称が「東雲閣」に決まりました。同名称は、市が広く市民の方から募集していたもので、八月三十一日に締切られ、九月五日の選考会において、応募総数五十六点の中から、市内桂城にお住まいの今村良助さん(三三)の「東雲閣」が選ばれたものです。この墓園センターは、総工費約四千五百万円、今年五月に完成したもので、広々としたロビーと三十五畳敷の和室などが配置されており、墓参りに訪れた方がゆつくりくつろげるようになっています。いつでも気軽にご利用ください。

ふるさとの
文化財

菅江真澄は、本名を白井秀雄といひ、徳川中期の国学者、そして紀行家でもあり、一七五四年に三河の岡崎に生まれました。二十八歳の時に家を出て、各地を流浪、とくに信州から奥羽・蝦夷地はくまなく廻り、旅から旅を送ること四十八年、その間に数百年に及ぶ紀行と民俗観察記録などを残し、文政十二年(一八二九年)七月十九日、仙北郡角館で七十六歳の生涯を終えました。墓は

菅江真澄著作46点
昭和33年2月5日指定
所在 市立栗盛記念図書館
管理 大館市

菅江真澄は、本名を白井秀雄といひ、徳川中期の国学者、そして紀行家でもあり、一七五四年に三河の岡崎に生まれました。二十八歳の時に家を出て、各地を流浪、とくに信州から奥羽・蝦夷地はくまなく廻り、旅から旅を送ること四十八年、その間に数百年に及ぶ紀行と民俗観察記録などを残し、文政十二年(一八二九年)七月十九日、仙北郡角館で七十六歳の生涯を終えました。墓は同郡旧寺内村の四古王神社付近にあります。この数百巻にも及ぶ著書のうち、藩校明徳館へ献納した書(佐竹家旧蔵・辻家現蔵)以外の日記その他は、真澄の没後に民間に散ってしまひ、それを明治時代になって、努力して集めた人が真崎勇助という人です。その収集物は彼の没後に栗盛家へ移譲され、その後市立栗盛記念図書館で「真崎文庫」として保存されていますが、その中に真澄資料が四十六点あり、昭和三十三年に県の重要文化財に指定されたものです。これら四十六点を大別すると、日記が約十冊、随筆八冊、そして草稿を綴った雑葉集十七冊、その他となっています。このなかで、晩年の真澄の知識が集結されている随筆集「筆のまにまに」全九巻五冊が最も価値高いものですが、残念なことにごににあるのは写本で、直筆本は行方不明となっています。その他の資料はすべて真澄の自筆となっています。

毎月2日(日曜のときは翌日) 場所: 市役所第1会議室

